## 2025年度 授業コード: 22107723

単位 4 履修 選択 開講年次 0 開講時期 後期・前期									
担当教員 増本 由紀子									
本科目は、「病院実習」と「講義・演習」の大きく2つの内容で実施する。「病院実習」は、医療機関において、医療と看護の実際を体験的に学び、また、既習の知識と技術を活用し、実習を通して基礎的な看護の視点を学ぶ。将来、養護教諭としての役割を担うための基礎的な能力(知識、技術、態度)を培う。さらに、保健医療福祉の多職種連携の実際を知り、学校保健の在り方を考察し、養護教諭の果たすべき役割を見出せるよう実習をすすめる。「講義・演習」は、病院実習前は、フィジカルアセスメント、看護過程の展開について演習を行う。病院実習後は、実習の学びを活かした救急処置と養護教諭の活動の展開について演習を行う。									
対面授業 実習、PBL、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション									
学生が達成すべき行動目標									
養護教諭に必要な基礎的な看護の視点を身につけ、病院実習での学びを養護教諭の職務に活かす考察ができる。 【外来実習】  1. 外来受診の流れと各科の特徴を捉えることができる  2. 各科における予診・診察介助・保健指導の実際を見学し、観察の目を養う  3. 各科における代表的な検査について知る  4. 受診が及ぼす患者および家族の心理的変化を理解する  5. 医療現場と地域社会の連携の在り方について考察する 【病棟実習】  1. 患児(者)に対して基本的な健康観察ができ、適切に報告できる  2. 患児(者)の健康上の問題を明らかにし、それに対する対症看護が実施できる  3. 病棟における感染対策が理解でき実施できる  4. 患児(者)の適切な環境を整えることができ、退院後の生活について考察できる  5. 保健医療福祉における看護体制の機能と看護職の役割、養護教諭としての連携の在り方が考察できる  【病院実習前後の演習】  1. 基本的な救急処置ができる  2. 看護的視点を持ち、養護教諭のケアと保健指導に活かせる  3. 養護診断を適切に行い、必要な援助を導き出すことができる。									
病院実習で、必要な看護技術が患者に提供でき、実習を通して得た学びを踏まえ養護教諭の看護力について考察できる。 養護教諭として身につけておくべき救急処置等の手技が身につき、教員採用試験の実技試験に対応できるレベルである。 さらに、養護診断が的確に行え、援助方法を導き出すことができる。									
評価方法・評価割合									

評価方法					評価割合	6(数値)		備考				
試験												
小テスト												
レポート												
発表(口頭、プレゼンテーション)				30								
レポート外の提出物				20								
その他				50				病院実習				
カ				リキュラ	ムマップ	(該当 DP)	・ナンバ	バリング				
DP1	0	DP2	0	DP3	0	DP4	0	DP5	0	ナンバリング	-	
			学	習課題(	予習・復	習)			1回の目安時間(時間)			
予習:医学系科目、看護学、基礎看				護技術で	学んだこ	とを総復習	する				2	
復習:学	校での応	用、養護	教諭の役	割と職務に結び付けて修得する						•	-	
	授業計画											
第1回	オリエ	ンテーショ	コン									
フィジカルアセスメント 第2回												
7,5 - 1,7		事例に対するアセスメントと救急処置を検討する										
第3回		カルアセス										
		付するアセ										
第4回	フィジカルアセスメント演習(3):事例検討③											
		付するアセ										
第5回		カルアセス										
	事例に対するアセスメントと救急処置を検討する											
第6回	51757 47	病院実習に向けて:実習目標と記録整理										
第7回					査・患者(児	記)の特性	-					
** 0 ==	各科の主な疾患と検査、看護について整理する											
第8回	診療科の特徴(2):発表											
第9回	看護過程の展開(1):入院病棟での疾患事例による演習											
77. 10 E	名病棟の疾患事例について看護計画を立てる											
第10回	看護過程の展開(2):発表											
第11回		病院実習(外来)										
第12回		病院実習(外来)										
第13回		病院実習(外来)										
第14回		病院実習(外来)										
第15回		病院実習(学内)看護技術練習										
第16回	病院実習(病棟)											
第17回		病院実習(病棟)										
第 18 回		病院実習(病棟) 病院実習(学内)外来実習のまとめ										
第 19 回	病院実育	当(字内)	外来実習	⊈いまとめ								

第 20 回	病院実習(学内)病棟実習のまとめ
第 21 回	オリエンテーション(後半)
第 22 回	病院実習のまとめ(1):個人面談(口頭試問)
第 23 回	病院実習のまとめ(1):個人面談(口頭試問)
第 24 回	学校での救急処置(1): 包帯法のグループ演習
第 25 回	学校での救急処置(2): 包帯法の確認 (事例)
第 26 回	救急蘇生法(1):心肺蘇生法・AEDの演習(担当:外部講師)
第 27 回	救急蘇生法(2):心肺蘇生法・AEDの演習(担当:外部講師)
第 28 回	養護教諭の活動過程(1): 救急処置事例の振返りとグループ検討
第 29 回	養護教諭の活動過程(2):救急処置事例の振り返りとグループ検討
第 30 回	養護教諭の活動過程(3):発表、まとめ
テキスト	「看護学」「基礎看護技術」で使用した教科書
参考図	日本赤十字社「赤十字救急法講習教本」
書・教材	日本学校保健会「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン(令和元年度改訂)」
/データ	日本赤十字社「WEB CROSS」 https://www.jrc.or.jp/lp/webcross/movie.html
ベース・	日本スポーツ振興センター「学校でのスポーツ事故を防ぐために」
雑誌等の	https://www.jpnsport.go.jp/anzen/tabid/1765/Default.aspx
紹介	
課題に対	課題や発表については、終了後、全体にコメントをします。
するフィ	技術演習は、教員が指導助言を行いながら練習し、質問も随時受け付けます。
ードバックの方法	看護実習は、実習全般について全体に、記録と実技は個別に指導助言を行います。
グの方法	看護臨床実習には履修要件があります。必ず「キャンパスライフ」で確認をお願いします。
学生への	
メッセー	看護実習では医療と看護の実際について学び、実習後の講義と演習では実習の学びを養護教諭の実践に
ジ・コメ	一つなぐことを意識してください。
ント	実習に対する姿勢と学びは評価の重要なポイントになります。事前学習や技術練習等、積極的に実習に
	取り組み、体調管理を万全にして実習に臨んでください。